

総合学術博物館運営委員会 議事要旨（案）

日 時： 令和3年7月21日（水） 10:00～11:00

場 所： オンライン開催

出席者：永田委員長（館長）、尾上（附）、橋爪（博）、上田（博）、宮久保（博）、辻野（博）、
※桑木野（文）、河森（人）、福井（法）、ドンゼ（経）、水谷（理）、祖父江（医）、村上（歯）、橋本（薬）、中谷（工）、深澤（基）、宮崎（言 代理）、蓮生（国）、長谷川（情）、倉橋（生）、松尾（高）、藪田（微）、川井（産）、疋田（蛋）、花木（社）、桐原（接）、藤岡（レ）、阿部（サ）上田（全 代理）

※は途中退出

欠席者： 豊田（博）

陪席者：横田（博）、伊藤（博）、徳野、中川、畑（事務）

<敬称略>

会議に先立ち、永田委員長から、全委員30名のうち29名の出席により、運営委員会成立要件を満たした旨の報告があり、引き続き開催の挨拶があった。

【協議事項】

1. 令和2年度総合学術博物館決算及び令和3年度総合学術博物館予算（案）について

（資料1）

永田委員長より指名を受け、事務から、資料に基づき、令和2年度総合学術博物館決算及び令和3年度総合学術博物館予算（案）について説明があり、異議なく承認された。

2. 次年度以降の展覧会企画について

（資料2）

橋爪委員から、資料に基づき、次年度以降の展覧会について説明があり、異議なく承認された。なお、今後の開催候補に記載の「石濱純太郎と石濱文庫」については、令和5年度春に予定しており、文学研究科の堤教授が担当する旨の補足説明があった。また、永田委員長及び橋爪委員から、各部局の先生方に、今後の企画について提案願いたい依頼があった。

【報告事項】

1. 全学組織点検に関する進捗について (資料3)
永田委員長から、資料に基づき、全学組織点検に関する進捗について報告があった。
2. 待兼山修学館の開館と感染症対策について (資料4)
永田委員長から、資料に基づき、待兼山修学館における感染症対策について、開館時間・入館者数を制限しながら適宜柔軟に対応しており、今後とも継続して対策を徹底していく旨の報告があった。
3. 令和2年度入館者数について (資料5)
永田委員長から、資料に基づき、令和2年度の入館者は3,824人であり、コロナ禍による臨時休館及び非常事態宣言による外出自粛要請等の影響、開館時間の短縮により例年より大幅に減少している旨の報告があった。
4. 総合学術博物館における広報・デジタル面の強化について (資料6)
永田委員長から、資料に基づき、総合学術博物館のホームページに「デジタル博物館」のメニューを作成し、常設展の解説や過去の展覧会の解説動画などのコンテンツを掲載していること、博物館の活動内容を紹介するニュースレターを刊行し、学内教員に配布した旨の報告があった。
5. 令和2年度の寄贈・寄託について (資料7)
永田委員長から、資料に基づき、令和2年度に寄贈及び寄託があった4点の資料について報告があった。
6. 令和2年度計画達成状況について (資料8)
永田委員長から、資料に基づき、令和2年度計画達成状況について報告があった。
7. 令和3年度の兼任教員について (資料9)
永田委員長から、資料に基づき、令和3年度の兼任教員について報告があった。
8. 令和3年度の展覧会企画について (資料10)
宮久保委員から、資料に基づき、現在開催中の大学創立周年記念展「街に生きる学問」について、状況と、8月10日まで開催している旨の報告があった。

また、横田助教から、来る10月18日から12月18日までの開催予定で準備を進めている秋季特別展「乙女文楽と近代の芸能史」について報告があった。

9. 令和3年度のその他企画について (資料11)

上田委員及び伊藤講師から、資料に基づき、今年度で開催予定の各種イベントについて報告があった。

10. 外部機関との連携状況について (資料12)

永田委員長から、資料に基づき、「かんさい・大学ミュージアムネットワーク」及び「北大阪ミュージアムネットワーク」など近隣の機関と相互に連携して、情報交換等を行っている旨の報告があり、併せて、加盟している大学博物館等協議会及び博物科学会が6月24日、25日にオンライン開催され、参加した旨の報告があった。

また、宮久保委員から、規模が縮小されたが、昨年秋に北大阪ミュージアムネットワーク主催のシンポジウムを開催した旨の報告があった。

以 上